

令和2年度第5回士別市教育委員会会議録

1. 日時 令和2年6月15日(木) 午後4時00分～午後5時23分
2. 会場 教育委員会 会議室
3. 出席者 教育長 中峰 寿 彰 生涯学習部長 鴻野 弘 志
職務代理者 五十嵐 紀 子 合宿の里統括監 三上 正 洋
委員 馬場 千 晶 学校教育課長 須藤 友 章
委員 加藤 洋 之 社会教育課長 武山 鉄 也
委員 山田 敦 久

4. 議 件 (発言者、議事要旨及び議決事項)

○中峰教育長あいさつ

学校が再開して2週間が経過した。校長会議の際に、児童・生徒に関して気になる様子がないか確認したところ、現在のところ大きな事案はないとの報告があった。しかし、表面上は問題なくとも、この状況下で日常生活を送るうちに望まない方向に気持ちが押されてしまうような心配なケースも考えられる。一方で、先生が神経質になり過ぎると子どもが必要以上に敏感に感じ取ることがあるため、意識的に明るくなるような声かけをするなどしてもらいたい。部活動などについても制限していたが、少しずつ活動を再開している。

合宿については、今月から予約が入っているが、日本陸連や一部企業が特に慎重な姿勢であるため、合宿がストップした例もある。例年はハーフマラソン大会の出場に合わせて合宿に来るチームが多いが、当面、7月4日に開催されるディスタンスチャレンジが本市に多くのアスリートが訪れる今シーズンの皮切りとなる。7月9日までは「ステップ2」であるため、無観客で大会を開催しなければならない。様々なことが少しずつ動き出してきたが、新たな波が来ないように対策を続けていく。

明日から市議会一般質問がスタート。主に学校教育課とスポーツ推進課の所管事項に質問があった。初日に補正予算を議決いただいたが、最終日にも提案する予定である。

本日の会議では、日頃気になっている事について、誤解が生じていることもあるかもしれないので、できるだけ情報共有できればと考えている。本日もよろしく願います。

1 議事について

○中峰教育長 進行

議案第12号 令和2年度士別市教育委員会補正予算について説明を求める。

○須藤課長

新型コロナウイルス感染症に伴う就学援助事業は、感染症拡大防止の影響により失業や離職を余儀なくされ、家計が急変した世帯に対し就学に必要な経費の一部を援助するもの。なお、就学援助制度では申請があった前年の所得を算定し判定しているが、本事案の場合は直近の3か月間の所得で判定する。どの程度申請があるか不明のため、小学校・中学校とも5人分ずつの経費を要求している。

また、国の学校保健特別対策事業を活用し、消毒液など保健衛生用品を市内学校に配備する。国の負担は事業費の50パーセントであり、残額は市が負担することになるが、先ほどの就学援助事業も含めて、「新型コロナウイルス感染症対策地方創生臨時交付金」の二次分を活用する予定である。

○鴻野部長

地方創生臨時交付金の一次申請の際には、学校給食食材のうち米飯やパンの納入業者が被った損失に対し補填したが、二次申請では学校給食関連業者への応援金を検討している。今回の会議には積算が間に合わなかったが、合わせて補正する予定である。

○中峰教育長

4月30日の教育委員会会議で議題としたGIGAスクール構想に関する補正予算については、5月22日の市議会第2回臨時会で可決された。交付金を充てる予定だが、充て方がわかりにくい。学校給食のうち、牛乳については加工などに流用できたため損失が出ていない。しかし、JAでは牛乳・ヨーグルト・バターなど乳製品の消費を拡大するため、これら製品の斡旋を行っており、本市職員が可能な限り協力している。

○加藤委員

消毒に使用するアルコールなどは入手できるのか。

○須藤課長

一時期はどこにもない状況だったが、現在は流通しているようだ。

○中峰教育長

最初は旭川の業者から購入したが品切れになり、次は室蘭の業者から購入した。次亜塩素酸水の使用も想定していたが、否定的な報道があったところ。入手できない状況ではない。

○加藤委員

アルコールが苦手な子どもはいないのか。あまり過敏になってもダメだと思う。いろいろな学説があり次亜塩素酸水はどうか。次亜塩素酸ナトリウムと取り違えた例も聞いている。

○五十嵐職務代理者

新型コロナウイルス感染症の影響で失業した例はあるのか。

○中峰教育長

情報としては聞いていない。いるかどうか不明である。

○加藤委員

飲食店の経営者からは厳しい状況と聞いている。家を売却した人がいるとの話も聞いた。

○山田委員

特別給付金として一人10万円交付される。

○中峰教育長

本市では担当部署の努力もあって給付金受付が順調に進んでいる。オンラインでの申請は100件程度あったと聞いている。

○加藤委員

旭川市ではまだ手続きが始まっていないようだ。

○山田委員

感染者が発生した場合、保健所が来るなどして国の指示に従うことになるのか。

○中峰教育長

きっちりと決定しているものではない。国からの通知では、学校医などの意見を聞くことが示されているが、ある学校医は「自分達が判断を下せるレベルのものではない」と言っている。児童・生徒や教職員から感染者が出た場合は、まず濃厚接触者を調べ、状況によって学級閉鎖・学年閉鎖・学校閉鎖と示されているが、多くの場合、学校単位で考えることになる想定している。なお、児童・生徒や教職員の家族から感染者が出た場合は、いきなり学校を閉めることにはならないと考えている。

○山田委員

感染者が発生した場合に起こる風評被害の対策は。

○中峰教育長

発生したとの情報が、どのように入ってくるかにもよる。保健所からの情報であれば、確認のとれたことを伝えてくると思う。本市のような自治体規模の場合、ローカルな話題は放っておいても具体的に誰のことを示しているのかということが伝わりうる。再度、情報管理を徹底しなければならない。

○山田委員

感染した人が、住んでいたまちに居づらくなり、引っ越したという話もあるようだ。感染者が出ないことを祈る。

○馬場委員

これまでは実家の親が市外から遊びに来ていたが、今年は遠慮してもらおうようにしたとの話も聞いた。とても神経質になっていると感じている。

○中峰教育長

抗体検査も一つの方法と言われている。

○加藤委員

恐らく何パーセントかは抗体のある人がいるのではないかと。全くいないことはないと思う。

○五十嵐職務代理者

少しでも感染に対する風当たりがやわらげられればよいと感じる。

○加藤委員

感染したらどうなるではなく、受入れ病棟がいくつあるかなどの情報を共有すべき。

○中峰教育長

感染者が、感染を隠して行動するようになってしまうことが危険である。

○加藤委員

過敏になっている人は、合宿受け入れを再開することに対しても何か言うのではないかと。

○中峰教育長

各チーム所属のアスリートは我々以上に気を付けている。ディスタンスチャレンジの開催にあたり、日本陸連のガイドラインなども踏まえていく考えである。士別がどういう状況であるかについての情報発信も行い、一定の条件について双方合意することにより合宿を受入れるものとするすることで、市民もチーム側も安心し、広く理解いただけるものと考えている。

○加藤委員

市議会議員などからも外部に向かって発信し、市民に広がるようになればよい。

※ 議案第12号了承

2 その他について

令和2年度第2回定例会一般質問について

○鴻野部長

教育委員会に関する直接の質問は6人から、関連する質問を含めると8人の議員から一般質問通告が提出された。

(別紙資料に基づき説明)

○加藤委員

各施設で行っている感染症対策は。

○中峰教育長

屋内の体育施設や文化施設は、部屋の面積から利用可能人数を割り出している。利用する際にはパーソナルデータを記載し、熱の有無など自己申告してもらい「新北海道スタイル」の徹底も必要。民間では、マイクを使用する活動の場合は、パーツを変えたり、カバーを取り付けたりしている。

○馬場委員

詩吟の団体は大きな声を出すので、ドアを開け換気して活動していた。施設を利用する際に提出しなければならない書類がたくさん必要になった。毎回、利用者全員分の住所・氏名・電話番号を記載するのは大変である。丸をつけたり、追加者のみ手書きする方法など対応してもらった。他の団体からのリクエストはあるのか。

○鴻野部長

再開に向け、施設側も混乱していた。万が一感染者が発生した場合に確認するための資料である。

○中峰教育長

申請書の基本形を示し、毎回同じ項目は記載を省略できるよう工夫することとしている。

○三上統括監

体育施設も個人・団体で異なる様式のチェックリストを使用している。

○加藤委員

中体連関連の大会が中止になったが、同じように中止になった高校野球は大会が開催される。

○中峰教育長

野球に関しては、高校生が7月18日に、中学生は7月から8月にかけて教育長杯を含め4大会、小学生は市長杯など7大会ほど開催される予定。陸上競技は7月4日に道北陸協主催の記録会や8月上旬にジュニア向け記録会を行う。他の競技については、部活動顧問の意見も聞いたうえで競技団体と大会の開催が必要かを相談したい。上川地区中体連からは、対外試合等を開催する際に教育委員会と相談する旨の通知が出ている。

○加藤委員

小学6年生と中学3年生は何もないまま卒業することになり、あまりにもかわいそうである。

○中峰教育長

学校行事の中止を決定した自治体もあるが、本市ではできるかぎり各校に実施するよう依頼している。学芸会はどうしても「密」になってしまうこともあり、運動会か学芸会のどちらかは実施してもらうことを基本に、運動会に学芸会の要素（歌など）を盛り込むことも検討いただいている。中には両方とも実施する学校もある。

○山田委員

朝日地区でも運動会と学校祭の両方を実施すると聞いている。

○加藤委員

業務が多くなり、先生方がつぶれてしまわないよう注意が必要。子どももストレスがたまり不登校になってしまう恐れがある。

○中峰教育長

各学校から児童・生徒の状況を聞いているが、感染症が直接的な原因となっているものはなかった。潜在的に不登校の要素がある子どもが、コミュニケーションを取りづらくなった可能性も生じている。

○馬場委員

テレビでは、オンライン授業がきっかけで不登校が解消された例が放送されていた。教育長杯は無観客で行うのか。

○中峰教育長

家族・知人などは可能とするよう考えている。大会によっては家族1人まで制限している場合もあるようだ。時間短縮のため、開会式は省略する予定である。また、ジャンプ大会に関しては、サマージャンプ大会は延期の予定だが、ジュニア・レディースとコンバインド大会は中止することが決定している。

○加藤委員

文化センターなどホールを利用したイベントの予定はないのか。

○中峰教育長

基本的に、ホールでは1つおきに着席する必要があり、定員が半分になってしまうが、そのことを理解してもらいながら、貸館を行う考えである。

○武山課長

段階的に制限が解除されていけば、大ホールで300席まで使用できる。

○加藤委員

お客が入れられなければ興行として成り立たないと考えられる。

○中峰教育長

今年から指定管理になったサンライズホールにおいては、今年度予定していた興行的事業は見直す方針のようである。

○五十嵐職務代理者

サンライズホールは閉館時間まで専門の職員が常駐し、対応してもらえるようになったので、使いやすくなった。

○中峰教育長

サービス向上の一つとして、指定管理の成果が表れたものとする。

当面する今後の日程について

須藤課長説明。

午後5時23分 会議の終了を宣した。

この会議は、会議の顛末を記載し、相違ないことを証するため署名する。

署名者

中峰 寿 彰

会議録調整者

須藤 友 章